



あさまる通信

第48号 7月

発行：習志野販売株式会社
〒275 - 0016
千葉県習志野市津田沼 5-11-10 吉田ビル 3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL <http://www.asamaru.com/>
e-mail info@asamaru.com

あさまる通信は毎月25日発行です。

◆沖縄舞踊 エイサー講座

5月7日(土)から毎週土曜日に、袖ヶ浦公民館で沖縄舞踊「エイサー講座」が行われています。この講座は沖縄学生会館に所属している学生、仲西裕樹さんを中心に、島袋庄太さん、上間元希さんが交代で講師を務めています。

エイサーとは、沖縄の先祖の霊を供養する為に伝えられている伝統芸能です。体に響く太鼓の音、全身を使った勇壮な踊り。市民まつり「習志野きらっと」のパレードで見たという人も多いでしょう。その歴史は500年以上前の「李朝実録」の中に沖縄の記録として残っています。エイサーの起源は「念仏踊り」であると言われていています。沖縄県内でも地区ごとに踊りが違います。仲西先生達は小学校の運動会で初めて踊り、沖縄学生会館での2年間の生活の中で、先輩からの踊りを引き継いでいます。



公民館での受講者のほとんどが女性です。大太鼓、締太鼓、パーランクーと呼ばれる小太鼓で構成されています。締太鼓は、サランで左手首と太鼓を固定し、太鼓に巻いてある細い縄をつかみます。約1kgの締太鼓を打ちながら手を大きく回すので、指の皮がむけてしまう為、指にテーピングしたり軍手を着けます。練習は沖縄民謡のCDにあわせて始めました。歌詞は沖縄の方言なので、

聞き取れませんでした。そこで沖縄県人会の伊波尚義会長に聞き取りのコツを教えてくださいました。沖縄

では母音を「あいう」しか発音せず、「えお」は「あいう」に変えて発音するそうです。例えば「念仏」は「ニンブチャー」となります。曲はリズムカールで、自然に体が動きます。手足を大きく動かしながらの演奏なので、冷房の中でもすぐ汗が吹き出します。それぞれの動きは神や祖先への感謝などを表しています。太鼓を打ちながら、手を大きく回し、高く膝を上げ、足踏みをして、時には270度も回転するという事を同時に進めます。全ての動作を一緒にする事は、なかなか難しいようです。帰宅してから、お盆とお箸で練習している人もいます。先生方は一人一人を見て「OK!出来てますよ」と励ましたり、細かい質問にも丁寧に指導してくれます。受講者との息もピッタリで、楽しい雰囲気伝わってききました。

7月24日(日)の「習志野きらっと」のパレードに、袖ヶ浦公民館の「エイサー」として出場します。衣装も手作りながら、本物らしく仕上げています。みなさん、頑張ってくださいね。



◆紫陽花(アジサイ)

梅雨の季節、雨の音をいつそう美しく引き立てる花といえば、紫陽花を思い出します。紫陽花は日本原産の植物で、名前は青い花が集まって咲く姿から、集めるの意の「集」に青の意の「真藍」で、「あずさあいから」「あじさい」になったという説があります。紫陽花の花びらの様に見えるのはガクで、実際の花は中心部の小さなツブツブです。現在は色々な品種が売られており、青、紫、ピンク、白など色とりどりです。土壌が酸性だと青くなり、アルカリ性だと赤くなります。梅雨から夏にかけて咲く紫陽花は、七変化」といわれるように、咲いているうちに白から青紫にだんだん色が変

わります。また鎖国時代にシーボルトが記した「日本植物誌」には、紫陽花を「ハイドランジア オタクサ」という名前で紹介されています。日本での恋人「お滝さん」への想いを名付けたといわれています。紫陽花は習志野市の市花でもあります。昭和45年に市民のアンケートにより市花は紫陽花、市木はアカシアと決まりました。習志野市では5月15日から8月31日までに出展届けを市民課窓口に出すと、紫陽花の苗木の引換券がプレゼントされます。引換券の窓口は、公園緑地課です。紫陽花のようにスクスクと丈夫に成長してもらいたいという願いが込められているようです。



紫陽花のお勧めスポットがありましたら、編集部までお知らせ下さい。

あさまるinfo

◆きくたこどもまつり

日程：7月2日(土) 午後4時～午後8時 前夜祭
7月3日(日) 午前10時～午後2時 本祭
場所：菊田公民館
内容：前夜祭/おばけ屋敷、菊田囃子、模擬店等
本祭/おばけ屋敷、影絵人形づくり、おもちゃ病院、模擬店等

◆第19回納涼風物祭

日程：7月2日(土)・3日(日) 午後3時～午後9時
場所：京成谷津駅北口前サンプラザ広場
内容：あさがお、ほおづき庭園、模擬店、ゲーム、大当たりスピードくじ、書道教室展示会、ステージイベント等

◆第3回生涯学習セミナー「メディアと子ども」

日程：7月23日(土) 午後1時30分～午後3時
場所：谷津公民館 1F 集会室
講師：千葉大学教育学部 助教授 藤川大祐氏
対象：一般80名
内容：子どもを巡る数々の事件に携帯電話やメール交換、テレビゲームなどのメディアが関係する昨今、私たちは子どもたちをどう指導したらいいのか、メディアと子どもの関係について考えてみませんか。

問い合わせ先：屋敷公民館 電話 047-475-4354
保育希望の方は、7/1～16までに屋敷公民館へ電話でお申し込み下さい。保育対象：2歳以上～未就学児

◆市民まつり 習志野きらっと2005

日程：7月24日(日)
まつり広場
時間：午前10時～午後9時
場所：市役所前グランド
パレード
時間：午後3時～午後8時45分
場所：市役所通り、市役所前広場

今年は花火大会が開催されません。また、本まつりは7月の最終日曜日開催ではありませんので、お間違えないようお願い下さい。



『2006年国公立大・短大受験年鑑』をプレゼント!!

国公立・私立大、短大計333校の紹介を掲載している「2006年国公立大・短大受験年鑑 君はどの大学を選ぶべきか東日本版(発行：大学通信社)」を350名様にプレゼント致します。(予定数量がなくなり次第、終了させていただきます)各校の学部学科組織図や取得できる資格一覧、学びたい分野から希望大学がわかるキーワード検索など掲載。

大学入試出題最多の朝日新聞と併読して、受験に役立てよう!

【応募方法】

受験生の方の 住所 氏名 年齢 電話番号を記入の上、上記住所習志野販売「2006年大学年鑑プレゼント」係までハガキ、FAXまたは、Eメールにてお申込み下さい。応募締切日は7/23(土)到着分まで有効です。

プレゼントのご応募は当社取扱新聞ご購入のお客のみと致します。裏面の読者プレゼントとは別にお申込み下さい。